

29年度 氷見市教育総合センターだより 第6報

Q-Uを活用した魅力ある学級づくり研修会 ～比美乃江小学校で開催～

1月25日(水)

授業研究会 提案授業 5年 算数科「比べ方を考えよう(2)」
 指導者 比美乃江小学校 教諭 井上 真孝 先生

全体会 Q-Uの活用についての説明
 魅力ある学級づくり推進委員会 教諭 黒田雄一郎 先生(西條中学校)

指導講話 講師 上越教育大学 教授 瀬戸 健 先生

比美乃江小学校のご協力を得て、「Q-Uを活用した魅力ある学級づくり」研修会が開催されました。

Q-Uの結果を生かしてグルーピングしたり、話し合いの場面工夫したりしたことで、子供たちは安心して学習に取り組んでいました。また、タブレットPCを効果的に使うことで、主体的に学習を進めていました。学級づくりに、Q-Uの結果やICTの活用が大きく関わっていることを実感することができました。

また、魅力ある学級づくり推進委員会から、Q-Uの分析と活用の仕方について詳しく説明を行いました。

講師の瀬戸 健 教授は、『もっといいクラスにしたい』『もっといい授業者になりたい』という教師の願いの強さが今日の授業から感じられる」と話されました。参加者の感想の一部を紹介します。



- ・算数が苦手な子供の発言も大切に、認め合うことのできる温かいクラスづくりがなされていた。
- ・子供たちの発言を生かした対話的な授業づくりを、普段から行っていきたいと思った。
- ・Q-Uの結果をどのように分析し、授業に生かせばよいのかについて、とてもよく分かった。
- ・指導講話から、子供の反応を素早く捉えることの大切さを学んだ。子供たちが、自分の内面をさらけ出せるような学級づくり、授業展開、課題の出し方ができるようになりたいと思った。

上庄小学校で行われた小中連携外国語活動公開授業について紹介します。

単元 「What do you want to be?」 上庄小学校 6学年 2月14日(水)

2月14日、上庄小学校で小中連携外国語活動の公開授業が行われました。6年生担任の圓佛先生、北部中学校英語科の嶋先生、ALTのボイド先生が、Hi, friends! 2-Lesson12「What do you want to be?」の単元で授業を実施されました。

上庄小学校では、来年度の5・6年生から実施する帯活動のQ&Aタイムを3学期からすでに取り入れており、児童は授業開始後直ちに、積極的に互いの考えを英語で伝え合っていました。また、同校出身の北部中学校2年生が作成した動画クイズに挑戦したり、カードゲームに取り組んだりして、小中連携の授業を楽しみました。



(授業者の感想)

- ・自分たちの進学先の中学校の先生と一緒に授業をするということで、授業前から子供たちはとても期待をしていた。その期待が、授業を楽しく進めることができた一因だと思う。時期的にも、卒業や中学校への進学を意識したこの時期がよかったと思う。
- ・子供たちの頑張りに感謝している。中学校で習う表現を外国語活動ですでに使っていることや、小学校での学習が中学校で役に立つことなどについて、もっと児童に伝えることができればよかったと思った。

(児童の感想)

- ・Q&Aでは相手の目を見てしっかりと「自分の欲しい物(I want ～)」について言うことができました。
- ・動画で中学生がクイズや自分の夢を言っている姿を見て、こんなふうになんて難しい英語を実際に言えるようになりたいと思いました。また、中学生は会話が続けてすごいいいと思いました。中学校の授業が楽しみです。

第3回英語教育研修会 外国語活動実技研修会 【12月26日、2月20日実施】

小学校では、来年度から新学習指導要領の移行が始まり、外国語活動は3年生から実施されることになります。そこで、外国語教育を推進する教員が演習を通して新学習指導要領の下での指導法を学び、各校での普及を図ることを目的に、実技研修会を2回開催しました。

【12月26日実施】

- 「小中連携外国語教育ひみプラン」の説明
 - ・小中連携乗り入れ指導
 - ・ふるさと教材の活用
 - ・帯活動Q&Aタイムの導入
- We Can! を使った5・6年生の授業体験
- ゲーム、チャンツ体験
 - ・ポインティングゲーム、キーワードゲーム
 - カード取りゲームとアクティビティ 等



帯活動Q&A体験



ペアでポインティングゲーム



ペアでキーワードゲーム

【2月21日実施】

- 帯活動Q&A体験（教師体験、児童体験）
- Let's Try! を使った3・4年生の授業体験
- ゲーム、チャンツ体験
 - ・ポインティングゲーム、キーワードゲーム
 - ステレオゲーム、ラッキーカードゲーム
 - カード並べ、Go Fish、チェンゲーム 等
- クラスルームイングリッシュ



ALTとQ&Aタイムのデモを体験

(参加者の感想)

- ・3・4年生では楽しいと思えることが第一だと感じた。ゲームも勝ち負けばかりだと楽しさに触れることができないので、今日教えていただいた「グループで協力するゲーム」をたくさん取り入れていきたい。
- ・研修会自体が楽しく、こんな雰囲気なら子供たちも英語が好きになるだろうと思った。ゲームを実際にやってみて、ラッキーカードゲームは勝敗がなく、どの子も負担を感じず、楽しくできそうなので取り入れたかった。
- ・この研修で、すぐに使えるゲームやアクティビティを実施にやってみることで、授業にどうやって取り入れていくかイメージをもつことができた。
- ・3・4年生の指導についてとても気になっていたもので、学ぶことができてよかった。5・6年生で使う会話文が、しっかりと3年生から学習していくことが分かった。
- ・帯活動のQ&Aを活用し、子供たちが外国語を話す機会を増やしたいと思った。自信をもって会話をするためにも何度も繰り返して練習したり、子供たちが飽きないようにチャンツで言葉やスピードを変えたりするなど、工夫することが大事だと思った。
- ・学校のALTだけでなく、他のALTの先生方も熱意をもって仕事されているのが分かり、刺激になった。参加者の声がすごく大きく、やる気が感じられ圧倒された。

今年度も皆様方のご理解とご協力のもと、教育総合センター事業を実施してまいりました。ご支援を賜りありがとうございました。第2回運営委員会でいただきました貴重なご意見の一部を紹介します。

○教員の資質向上や研修会について

- ・県との連携を深めながら、内容が重ならないように棲み分けたり、研修会の在り方を考えたりしてほしい。また、研修の対象者や募集の仕方についても、改めて考えてほしい。
- ・センターではとてもよい研修会が行われている。来年度行われる予定の講演も、ぜひ聞いてみたいと思う。多くの先生によさを伝え、前向きに研修会に参加したい。

○若手教員研修について

- ・20代の先生や、臨任講師の先生の研修の場を充実するのはよいことだと思う。若手教員研修会に参加した先生方は「とても勉強になった」と喜んでいる。今後、研修内容の希望を聞き、より必要感のある研修会が開催されることを期待する。

○今後のICT活用について

- ・ICT研修会に参加した教員が、他の先生方にタブレットの使い方を教えていた。研修会にたくさんの先生方が参加し、タブレットが有効に使われるようになってほしい。
- ・電子黒板やタブレットを使った授業の進め方はよく分かったが、情報モラルについての指導についてよく分からない。具体的にどのように指導していけばよいかについても研修していきたい。



○その他

- ・センターに頼ってばかりの研修ではなく、各学校の研修能力も高めていかなければいけない。例えば50代の先生を講師にして、活躍できる場をつくるなどの研修である。学校内でできることと、氷見市全体でできることのバランスをとっていきたい。
- ・氷見市の全員の先生方が一堂に集まる研修もあってもよいのではないだろうか。

事務局から、①「氷見市いじめ防止基本方針（平成29年9月改訂）」、②「氷見市いじめ問題専門家委員会」の開催（9月、2月）、③平成29年度（2学期まで）の氷見市におけるいじめの状況、④市内小中学校のいじめ防止等の取組、⑤いじめの具体事例について説明を行いました。その後、学校と関係機関及び団体のよりよい連携の在り方について協議しました。

委員の方々からは、それぞれの立場から、次のような意見が出されました。

- ・いじめ防止には「人間関係づくり」と「ルール作り」が大切である。
- ・いじめは、人間関係づくり、学級づくり、集団づくりで防止できる。
- ・相談室だよりを発行し、いじめの定義やいじめを発見するために必要なことを説明している。そのことにより、いじめの認知件数が増えてきている。早期発見と早期対応、チームでの対応を心がけている。
- ・身体的な暴力ばかりではなく、SNSを介したいじめが問題となっている。インターネットの怖さを、子供も親も十分に理解しているとは言えない。
- ・スマホは、ほとんどの子供が持っていると認識して指導を行う必要がある。
- ・子供たちには「いじめは犯罪行為」だということを伝えていきたい。
- ・これからは「いじめの見逃しゼロ」を目指していかなければならない。

教育委員会事務局として、今回の貴重な意見や提案を参考に、関係機関との連携を一層強めていきたいと考えています。各学校においては、「学校いじめ防止基本方針」の見直しを含め、より**実効性のあるいじめ防止対策**を推進されるようお願いいたします。



新着図書を紹介



氷見市教育総合センター

今年度、下記の参考図書を購入しました。ぜひご活用ください。

<教育>

授業が変わる！新学習指導要領ハンドブック (小学校編)	時事通信出版局 編	時事通信社
授業が変わる！新学習指導要領ハンドブック (中学校 国語、社会、数学、理科、英語、保健体育編)	時事通信出版局 編	時事通信社
小学校「新学習指導要領」新旧対照本	時事通信出版局 編	時事通信社

<社会教育>

空が青いから白をえらんだのです 奈良少年刑務所詩集	寮美千子 編	新潮文庫
世界はもっと美くなる 奈良少年刑務所詩集	寮美千子 編	ロクリン社
父は空 母は大地 インディアンからの伝言	寮美千子 編・訳	ロクリン社
子育ての哲学—主体的に生きる力を育む	山竹伸二 著	筑摩書房
「学習する組織」入門 自分・チーム・会社が変わる持続的成長の技術と実践	小田理一郎 著	英治出版
チームが機能するとはどういうことか 「学習力」と「実行力」を高める実践アプローチ	エイミー・C・エドモンドソン 著	英治出版
チックとトゥレット症候群がよくわかる本	星加明德 著	講談社
チックはわざとじゃないんだ	マル・レスター 著	大月書店
学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶 応大学に現役合格した話	坪田信貴 著	KADOKAWA
漫画 きみたちはどう生きるか	吉野源三郎 著	マガジンハウス
つながりを煽られる子どもたち ネット依存といじめ問題を考える	土井隆義 著	岩波書店
スマホ時代のリスクとスキル	竹内和雄 著	北大路書房

<教育方法>

カリキュラム・マネジメント入門 「深い学び」の授業デザイン。学びをつなぐ7つのミッション。	田村学 著	東洋館出版
こうすれば考える力がつく！ 中学校思考ツール	田村学・黒上晴夫 著	小学館
「深い学び」で生かす思考ツール	田村学・黒上晴夫 著	小学館
スマホ時代に対応する生徒指導・教育相談	竹内和雄 著	ほんの森出版
伝説の教師 鹿嶋真弓 「明日の教室」発！ 互いに認め合い高め合う学級づくり	糸井登・池田修・鹿嶋真弓 著	学事出版
“脳働”的な英語学習のすすめ 「プロ教師」に学ぶ真のアクティブ・ラーニング	中嶋洋一 編	開隆堂
Hi, friends ! 1 ベーシック指導事例カード	直井恵子 著	東京書籍
Hi, friends ! 2 ベーシック指導事例カード	直井恵子 著	東京書籍

※ 各種教育関係図書や月刊教育雑誌、教科書等も取り揃えています。

なお、事前に電話をいただければ、本人以外の方への代理貸し出しをするとともに、貸し出し時間等の相談にもなります。気軽に電話でお問い合わせください。

氷見市教育総合センター
TEL 0766-74-8220
FAX 0766-72-8122